

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-091036

(43)Date of publication of application : 24.03.1992

(51)Int.Cl.

A61K 45/00
A61K 9/06
A61K 31/415
A61K 31/495
A61K 31/71

(21)Application number : 02-207880

(71)Applicant : HASHIOKA TATSUYA
NIPPON KURINGEEJI KK

(22)Date of filing : 06.08.1990

(72)Inventor : HASHIOKA TATSUYA

(54) EXTERNAL PREPARATION FOR ANUS

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain an external preparation for anus containing an effective amount of antifungal agent and capable of remarkably reducing the load of patient by quickening healing of hemorrhoid and preventing relapse.

CONSTITUTION: The objective external preparation containing an effective amount of antifungal agent, preferably of amphotericin B, micronazole nitrate, econazole nitrate, thioconazole, clotrimazole, trichomycin, fluconazole, ketoconazole, etc., in an ointment base. Further, the preparation can be blended with various kinds of pharmawdynamic ingredients such as antiinflammatory agent, antimicrobial agent, analgesic, hemostatic, antiseptic, etc., and further excellent treating effects can be exhibited thereby.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

Reference No.: 35
Appln. No.: 10/669,099
Inventor(s): Gorfine, Stephen R.
Atty Docket No.: 010692-004532US

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平4-91036

⑤Int.Cl.⁹

A 61 K 45/00
9/06
31/415
31/495
31/71

識別記号

ADA K
ADZ

庁内整理番号

8415-4C
7624-4C
7475-4C
7252-4C
9164-4C

④公開 平成4年(1992)3月24日

審査請求 有 請求項の数 1 (全2頁)

④発明の名称 肛門用外用薬剤

②特 願 平2-207880

②出 願 平2(1990)8月6日

②発 明 者 橋 岡 龍 也 大阪府枚方市香里ヶ丘6丁目10番2号306

⑦出 願 人 橋 岡 龍 也 大阪府枚方市香里ヶ丘6丁目10番2号306

⑦出 願 人 日本クリンゲージ株式 東京都中央区銀座1丁目13番1号
会社

⑦代 理 人 弁理士 旦 範 之 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

肛門用外用薬剤

2. 特許請求の範囲

有効量の抗真菌剤を含有することを特徴とする肛門用外用薬剤。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、痔疾患の治療に用いられる肛門用外用薬剤に関する。

〔従来の技術〕

痔疾患治療用の薬剤として、東洋医学に基礎をおく生薬を中心とする薬剤と、西洋医学に基礎をおく化学薬剤の2つの系統のものがあった。

そして東洋医学系の薬剤、いわゆる漢方医薬は生薬を多種類配合したものであるが、その処方

は経験的に使用を積み重ねて改良が進められてきたものである。

また西洋医学系の医薬は、それぞれ特有の生理活性を有する薬効成分を、いくつか組み合わせるものであり、痔疾治療剤としては、例えば塩酸ジブカイン、リドカインなどの局所麻酔性の鎮痛剤、例えばヒドロコルチゾンなどの副腎皮質ホルモン、例えばエスクロシド、テトラヒドロ-1、4-オキサジン塩酸塩、乳酸アルミニウム、次没食子酸ビスマスなどの止血剤、例えば硫酸フラジオマイシン「ヘキサクロロフェン」などの消毒剤、例えば塩酸ジフェンヒドラミンなどの抗ヒスタミン剤などの各種の成分から適宜のものを選択して配合し、座薬または軟膏などに調製したものが普通であった。更に、シコンエキス等の生薬を追加して、西洋医学に東洋医学を加味したものも作られている。

〔発明が解決しようとする課題〕

痔疾患は、痔瘻、痔核、裂肛の3態様に分類

されるが、このようなそれぞれの態様を発現するに至る医学上の統一的な定説はない。

しかし痔瘻に関しては、肛門小窩炎が肛門腺炎にまで進行し、更に奥に進んで肛門周囲膿瘍となり、肛門周囲の皮膚を破って排膿して痔瘻となる、とされており、また痔核は、排便時のいきみや飲酒等により肛門うっ血が起こり、静脈瘤が形成されて痔核となる、とされている。更に裂肛は、便秘により固くて太い便が排泄されるときに、肛門管の皮膚を引き裂くことにより発生する、とされている。そして、これらの痔疾は、肛門小窩炎、肛門洞炎、肛門腺炎などの炎症により増悪するであろうと推測されているものの、医学上の証明はなされていない。

ところでこうした痔疾に、従来の痔疾治療剤による止血と鎮痛を主とした治療を加えたときはしばしば再発をくりかえし、更に抗生物質などの抗菌剤を加えた治療剤を用いても完治は望み難かった。

このような事情において、本発明は従来の肛

門用薬剤よりも優れた痔疾患治療効果を発揮する新規な肛門用外用薬剤を提供することを目的とした。

[課題を解決するための手段]

本発明の目的は、有効量の抗真菌剤を含有することを特徴とする肛門用外用薬剤によって達成することができる。

本発明の外用薬剤に配合含有させる抗真菌剤としては、アンホテリミンB、硝酸ミコナゾール、硝酸エコナゾール、チオコナゾール、クロトリマゾール、トリコマイシン、フルコナゾール、ケトコナゾールなどが好ましく用いられるが、必ずしもこれらに限られるものではない。

また、これらの抗真菌剤は軟膏基剤中に有効量、たとえば0.01重量%以上の濃度となるように配合して用いることができる。

さらに本発明の外用薬剤には、消炎剤、抗菌剤、鎮痛剤、止血剤、消毒剤などの各種の薬効成分を配合することができ、それによって一層

優れた治療効果を発揮させることができる。

[実施例]

抗菌剤として抗生物質ゲンタマイシン10mg、抗真菌剤として硝酸ミコナゾール100mg、消炎剤としてヒドロコルチゾン2.5mg、生体活性剤として太陽菌死菌浮遊液0.163g、消毒剤として水溶性アズレン3g、および水0.5gを軟膏基剤21gとよく混合して、本発明の軟膏形の外用薬剤を調製した。

更に、比較のために抗真菌剤を配合しない従来の痔疾患外用薬剤を使用した。

本発明の軟膏を痔疾患患者の患部に対して約0.2～0.3g塗布したところ、肛門部の痛みの消失や出血の停止までの時間が比較品使用の場合に比して著しく短縮された。

そしてまた、本発明の外用薬剤を使用して治療した患者では痔疾の再発までの期間が延長していることが認められた。

[発明の効果]

本発明の外用薬剤は抗真菌剤が含有されたものであり、抗真菌剤を含有しない従来の外用薬剤に較べて、痔疾の治療を早め、再発し難くすることにより、患者の負担を著しく軽減できる利点がある。

特許出願人 橋 岡 龍 也

同 日本クリンゲージ株式会社

代 理 人 旦 面

同 高 橋 功

同 旦 武

